



竹澤 <sup>あゆ</sup> 杏悠 ちゃん  
「いたずらだいすき！」  
(大野原)



柴崎 <sup>だい</sup> 大弥 くん  
「外遊びだ〜いすき♡」  
(下吉田)



長谷川 <sup>も</sup> 萌花 ちゃん  
「いっつもご機嫌♡  
あそぼ!あそぼ!!」  
(荒川上田野)



円城寺 <sup>おに</sup> 創太 くん  
「おにちゃんだ〜いすき♡」  
(桜木町)



**応募方法**

1〜1歳半程度のお子さんの写真を同封し、住所・保護者の方のお名前・電話番号・お子さんのお名前(ふりがな)・性別・生年月日を明記のうえ、秘書広報課までご応募ください。  
抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。

**市民文芸**

**短歌の選者が  
交代しました**



綾部 光芳 先生

今月号から、新井悦子先生の後を受けて、綾部光芳先生が短歌の選者を担当することになりました。綾部先生の短歌歴は約50年におよび、これまでに歌集や評論書などを多数執筆されています。現在、響短歌会主宰、秩父牧水顕彰会会長を務め、若山牧水の歌碑を建立する活動にも積極的に参加されています。

新井悦子先生には長い間、短歌の選者としてご活躍いただきました。心から感謝申し上げます。

短歌、俳句の応募は、住所・お名前(ふりがな)を明記のうえ、必ず官製はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2首または2句まで、各1通までです。  
**短歌** 5月末締切→7月号に掲載  
**俳句** 6月末締切→8月号に掲載

**短歌**

雪の山消えた命を悲しみて見通しつかぬ除雪待ちいる  
八十路過ぎ吾が覚えなき豪雪の各地に被害の辛さ思えり  
ご開帳手綱戴き下りきて色あざやかな雉に出逢いぬ  
流感の妻と家庭内別居して会話は全て携帯電話で  
幾とせを怪我や病と戦いつ今は介護で夫につくす  
夕食に別々に見し午後の虹話題となりて繋がる時間  
言うまいと決めたに「よいしょ」「どっこいしょ」幾回言つて一日が暮れぬ  
亡き母の編みしセーター愛おしく面影重ね袖通しみる  
堀の縁するする進む青大将友と見守る啓蟄の日に  
告げがたき心の奥に秘めしままふと思いつ出すはるか遠き日  
(評) 千島さん、竹村さん。二月の大雪の状況を的確に表現しています。江田さん、色彩豊かな作品です。齋藤さん、携帯電話も思わぬ効用があるものです。浅見さん、大切なところをとらえています。島田さん、巧みな展開です。山口さん、声を出すと思いのほか力が出るものです。栗原さん、「愛おしく」がいいですね。富田さん、意外性がいいです。中村さん、その思いはかけがえない宝物ですね。

**綾部 光芳 選**

- 三 峰 千島サマ井
- 栃 谷 竹村善三郎
- 下影森 江田 清二
- 吉田久長 齋藤 大仙
- 荒川上田野 浅見 恒子
- 寺 尾 島田 由子
- 上吉田 山口 富枝
- 荒川日野 栗原トク子
- 日野田 富田かよ子
- 黒 谷 中村 美代

※次回6月号は俳句を掲載します